

来年度に向けての抱負は 総合戦略の実現を目指す



なかじま いちろう
中島 一郎 議員

答 松本町長

令和2年度では前任者と目指す政策に大きな違いはなく、積み残された課題をより具体的な形にすることを心掛け取り組んでいる。

問 松本町政は昨年の10月4日に誕生した。

この間、黒潮町総合戦略を基軸とした当町の更なる発展に取り組み施策の充実を図ってきた。

この一年間を振り返り率直な感想と来年度に向けての抱負を問う。

また新型コロナウイルスの影響もあり、町民と行政間に距離感ができてきたのではないかと。

意思疎通を図るためにも地域別座談会を開催する計画はないか。

感染への長期化に向けてしつかりと分析し新たな経済対策への対応をすることで、町の活性化対策に結び付けた施策の展開を図り、黒潮町総合戦略の実現に取り組む。

地域別座談会については、高規格道路の延伸と南海トラフ地震対策を見据えたまちづくりのビジョンを作る必要があることから、数年後にインターチェンジの開通が見込まれる佐賀地域の17事業者を対象にヒヤリングを行っている。

また県が実施する集落調査が町内26地区で行われており、公共交通や土砂災害を考えるワークシヨップなども11回ほど開催されている。

地域課題等に合わせたヒヤリングや意見交換を行っていることから、全域での開催は予定していません。

産業振興

燃油価格高騰への支援策は 国の動向を見て検討

問

世界的な原油価格高騰の影響で、一次産業では加温が必要な施設園芸や漁船漁業において、生産力を妨げる原因にもなっている。町として何らかの支援策を打つべきではないか問う。

答

今西海洋森林課長 国は、現時点で農林漁業者を対象とする支援策を、今回の経済対策に明記することで調整しているようだ。



グリーンレモン栽培農家との意見交換会

農業関係では、夜間の加温が必要な施設園芸には、施設園芸サーフティーンネット構築事業やその他の補助事業での整備がある。

【その他の質問】

そして漁業関係でも類似した事業で補てん金の支援があるが、国の動向を注視しながら補助事業が活用できない場合の支援策を検討していく。